

工科短期大学の現状と課題

1 職員の状況 (単位：人)

職名	定員	現員
校長	1	1
訓練指導員	24	24
事務職員	5	4
臨時的任用職員	0	0
計	30	29

(※民活コーディネーター等を除く)

2 運営費 (H26 決算額) (単位：千円)

区分	施設内訓練		委託訓練	計
	学卒者・離職者	在職者		
国補	136,632	0	0	136,632
国委	0	0	22,500	22,500
使用料等	72,215	220	0	72,435
基金繰入金	0	0	0	0
一般財源	116,660	665	0	117,325
計	325,507	885	22,500	348,892

3 施設・設備の状況 (単位：千円)

内容	H22 予算	H27 予算
リース料	46,896	49,466
購入費	5,872	5,417
施設修繕費	1,615	7,307
計	54,383	62,190

訓練機器の整備費は、5年前と比べて増加。直近3年間はほぼ横ばい。

平成25、26年度に国の交付金（地域の元気臨時交付金）を活用し、5機種（計：134,417千円）の機器を新規に購入した。

4 南信工科短大の概要

(1) 科目 専門課程：機械・生産技術科、電気・制御技術科

短期課程：機械科（普通職業訓練）

(2) 定員 専門課程：80人（20人×2科×2年）

短期課程：20人（10人×2回×1年）

5 課題

○施設・設備の老朽化

- ・重要物品に分類される（160万円以上）訓練機器 52 台のうち、耐用年数が経過した機器は 46 台（88.5%）、うち、耐用年数の 2 倍が経過した機器は 44 台（84.6%）
- ・開校時（平成 7 年）に整備してから 20 年間一度も更新されていない機器は 43 台
- ・10 次計画終了時点（H32）で 25 年が経過

○教員の育成・指導技法の継承

- ・教員 24 名（55 歳以上 5 名、40 歳未満 6 名）、平均年齢 45.1 歳

○高校における認知度の向上

- ・工科短大を「知らない」85.7%、南信工科短大を「知らない」91.1%（高校生アンケート結果）
- ・「知らない」、「名前は聞いたことはあるが具体的な内容は知らない」工科短大 38.9%、南信工科短大 54.7%（高校進路指導担当アンケート結果）

○企業との連携、研究機能の強化

- ・設置目的…高度な技能・知識を有する人材の養成及び専門的な技術の研究
- ・「長野県工科短期大学学校教育研究振興会」（H11 設立）
- ・「南信工科短大振興会」（H26 設立）
- ・大学との共同研究、工業技術総合センターとの連携

○大学への編入学

- ・構造改革特区として文部科学省に提案（H15～）
- ・現時点では単位認定のみ認められている（60 単位以内）
- ・編入学については、関係省庁と連携しつつ引き続き検討とされている（平成 27 年度半ばまで）

○職業大学との関係

- ・「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」の制度化について、中央教育審議会で検討中
- ・平成 31 年度の開学に向け、平成 28 年年央までに結論を得た上で、速やかに所要の法制上の措置を講ずる
- ・国の動向を注視